


旧犬養家住宅



指定区分	国指定重要文化財(建造物)
読みかた	きゅういぬかいけじゅうたく
所在地	岡山市北区川入
指定年月日	昭和53年1月21日
解説	<p>岡山市西部に所在する、大庄屋の屋敷構えを良好に示す江戸時代中期に建築されたを民家住宅。主屋は、桁行17.9m、梁間11.0m、入母屋造、本瓦葺。土蔵は、桁行8.9m、梁間5.0m、切妻造、本瓦葺。犬養家は、近世初頭岡山に移り住み、以後代々川入村(現岡山市川入)で庄屋・大庄屋を務めた。式台、広い土間等に村役宅の格式と特徴がみられ、正徳年間(1711～1716)頃の建築と推測されている。昭和初期の総理大臣犬養毅(木堂)の生家。なお、宅地は「犬養家旧宅」として県指定史跡となっている。</p>
アクセス方法	岡電バス・両備バス「庭瀬本町」から徒歩12分 / JR庭瀬駅から車で5分
公開状況	入館9:00～16:30 / 無料 / 休館:火曜、祝日の翌日(土日は除く)、年末年始
設備	トイレ 
備考	